

第 1 6 回 御幸公園梅香事業推進会議

日 時 平成 3 0 年 1 1 月 2 日 (金)

1 3 : 3 0 ~ 1 4 : 3 0

場 所 幸区役所 4 階第 2 会議室

1 開会

2 報告事項

平成 3 0 年度幸区民祭における御幸公園梅香事業

P R ブース出展の報告について

…報告資料

3 議題

(1) 平成 3 0 年度観梅会の企画内容について …資料 1

(2) 御幸公園梅林の将来像について …資料 2

4 その他

(1) うめかおる写真展について …資料 3

(2) うめかおる寄附・募金について …資料 4

5 閉会

平成30年度幸区民祭における御幸公園梅香事業PRブース出展の報告について**1 日時**

- ・平成30年10月20日（土）：10時～16時

2 内容

- ・「御幸公園梅香事業推進計画」概要版パネルの展示
- ・「うめかおる寄附・募金のご案内」チラシ配布及び募金箱の設置
（⇒募金受付額：2,241円）
- ・さいわい広報特別号「御幸公園梅香事業推進計画策定」（平成29年2月28日発行）配布
- ・平成30年度「うめかおる写真展」応募作品の展示
- ・平成30年度御幸公園梅香事業講演会「榎本家資料が語る明治時代の小向梅林」チラシ配布及び参加受付
- ・シール投票調査（回答者に景品（梅香事業ボールペン等）配布）
（⇒延べ回答者数：178人）
①参加してみたい梅香事業の取組について
②観梅会の催し物について



3 シール投票調査結果について

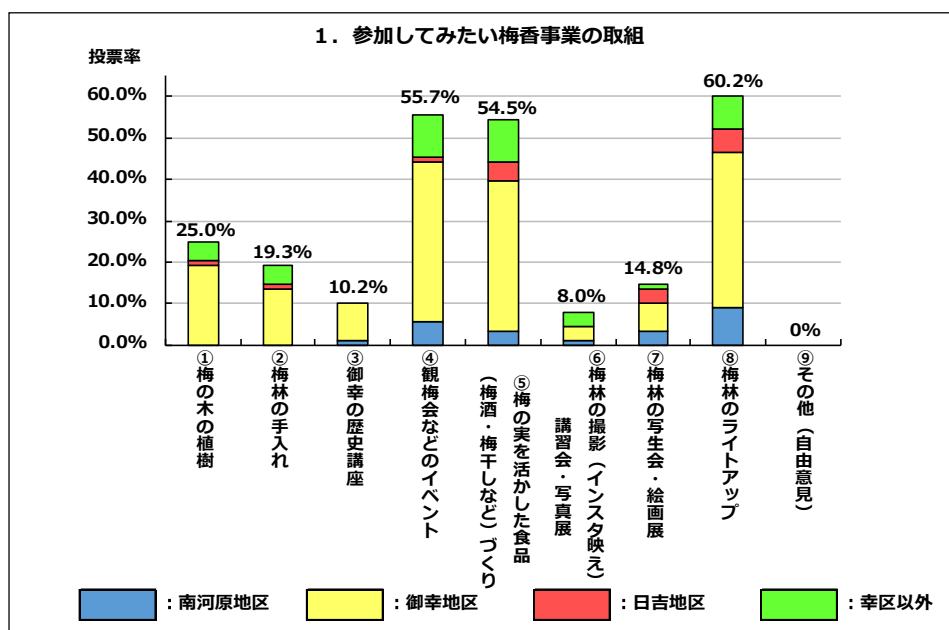
<①参加してみたい梅香事業の取組について>

- ・質問内容及び回答項目：「資料2－別紙1」参照
- ・シール投票調査の結果写真



- ・集計結果表及びグラフ

A：19歳以上 B：高校生以下		南河原地区		御幸地区		日吉地区		幸区以外		計	投票率 (%)
A	B	A	B	A	B	A	B	A	B		
回答者数		11	1	49	5	7	2	13	0	88	—
投票 数	①梅の木の植樹			15	2	1		4		22	25.0%
	②梅林の手入れ			12			1	4		17	19.3%
	③御幸の歴史講座	1		8						9	10.2%
	④観梅会などのイベント	4	1	34		1		9		49	55.7%
	⑤梅の実を活かした食品 (梅酒・梅干しなど) づくり	3		31	1	4		9		48	54.5%
	⑥梅林の撮影 (インスタ映え) 講習会・写真展	1		3				3		7	8.0%
	⑦梅林の写生会・絵画展	3		6		3		1		13	14.8%
	⑧梅林のライトアップ	7	1	32	1	3	2	7		53	60.2%
	⑨その他 (自由意見)									0	0.0%



- 「④観梅会などのイベント」、「⑤梅の実を活かした食品づくり」、「⑧梅林のライトアップ」は、投票率が50%を超えており、非常に関心が高い。
- 「①梅の木の植樹」、「②梅林の手入れ」も投票率20%前後であり、一定の割合の関心を持たれている。

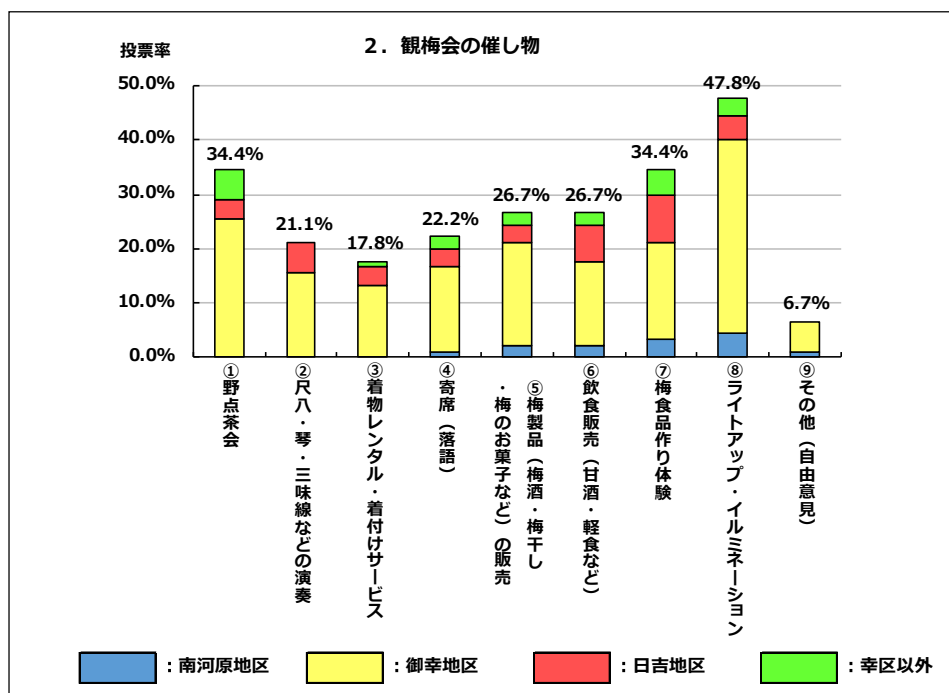
<②観梅会の催し物について>

- ・質問内容及び回答項目：「資料2－別紙2」参照
- ・シール投票調査の結果写真



- ・集計結果表及びグラフ

A：19歳以上 B：高校生以下		南河原地区		御幸地区		日吉地区		幸区以外		計	投票率 (%)
		A	B	A	B	A	B	A	B		
回答者数		6	0	42	12	14	4	12	0	90	—
投票数	①野点茶会			19	4	2	1	5		31	34.4%
	②尺八・琴・三味線などの演奏			12	2	5				19	21.1%
	③着物レンタル・着付けサービス			10	2	2	1	1		16	17.8%
	④寄席（落語）	1		13	1	3		2		20	22.2%
	⑤梅製品（梅酒・梅干し ・梅のお菓子など）の販売	2		17		3		2		24	26.7%
	⑥飲食販売（甘酒・軽食など）	2		14		3	3	2		24	26.7%
	⑦梅食品作り体験	3		14	2	6	2	4		31	34.4%
	⑧ライトアップ・イルミネーション	4		26	6	4		3		43	47.8%
	⑨その他（自由意見）	1		5						6	6.7%



○どの催し物も関心を持たれているが、特に「①野点茶会」、「⑦梅食品作り体験」、「⑧ライトアップ・イルミネーション」の関心が高い。

○その他として、俳句会（1件）やフリーマーケット（2件）といった意見が挙げられた。



御幸公園周辺はかつて**梅の名所**として栄えた歴史があり、区ではこうした歴史を踏まえ、
梅林復活と魅力向上を目指し「**御幸公園梅香事業**」として様々な取組を進めていく予定ですが、
どのような**取組**であれば**参加してみたい**ですか？（いくつでも）



- ：南河原地区の方
- ：御幸地区の方
- ：日吉地区の方
- ：幸区以外の方

①

梅の木の植樹



②

梅林の手入れ



③

御幸の歴史講座



④

観梅会などのイベント



⑤

梅の実を活かした食品
（梅酒・梅干しなど）づくり



⑥

梅林の撮影（インスタ映え）
講習会・写真展



⑦

梅林の写生会・絵画展



⑧

梅林のライトアップ



⑨

その他（自由意見）

H30 年度幸区民祭 御幸公園梅香事業PR

回答者数
A=19歳以上
B=高校生以下

南河原地区		御幸地区		日吉地区		幸区以外	
A	B	A	B	A	B	A	B



「観梅会」であるといい催し物は何ですか？（いくつでも）



- ：南河原地区の方
- ：御幸地区の方
- ：日吉地区の方
- ：幸区以外の方

①

野点茶会



②

尺八・琴・三味線などの演奏



③

着物レンタル
着付けサービス



④

寄席（落語）



⑤

梅製品（梅酒・梅干し・
梅のお菓子など）の販売



⑥

飲食販売（甘酒・軽食など）



⑦

梅食品づくり体験



⑧

ライトアップ
イルミネーション



⑨

その他（自由意見）

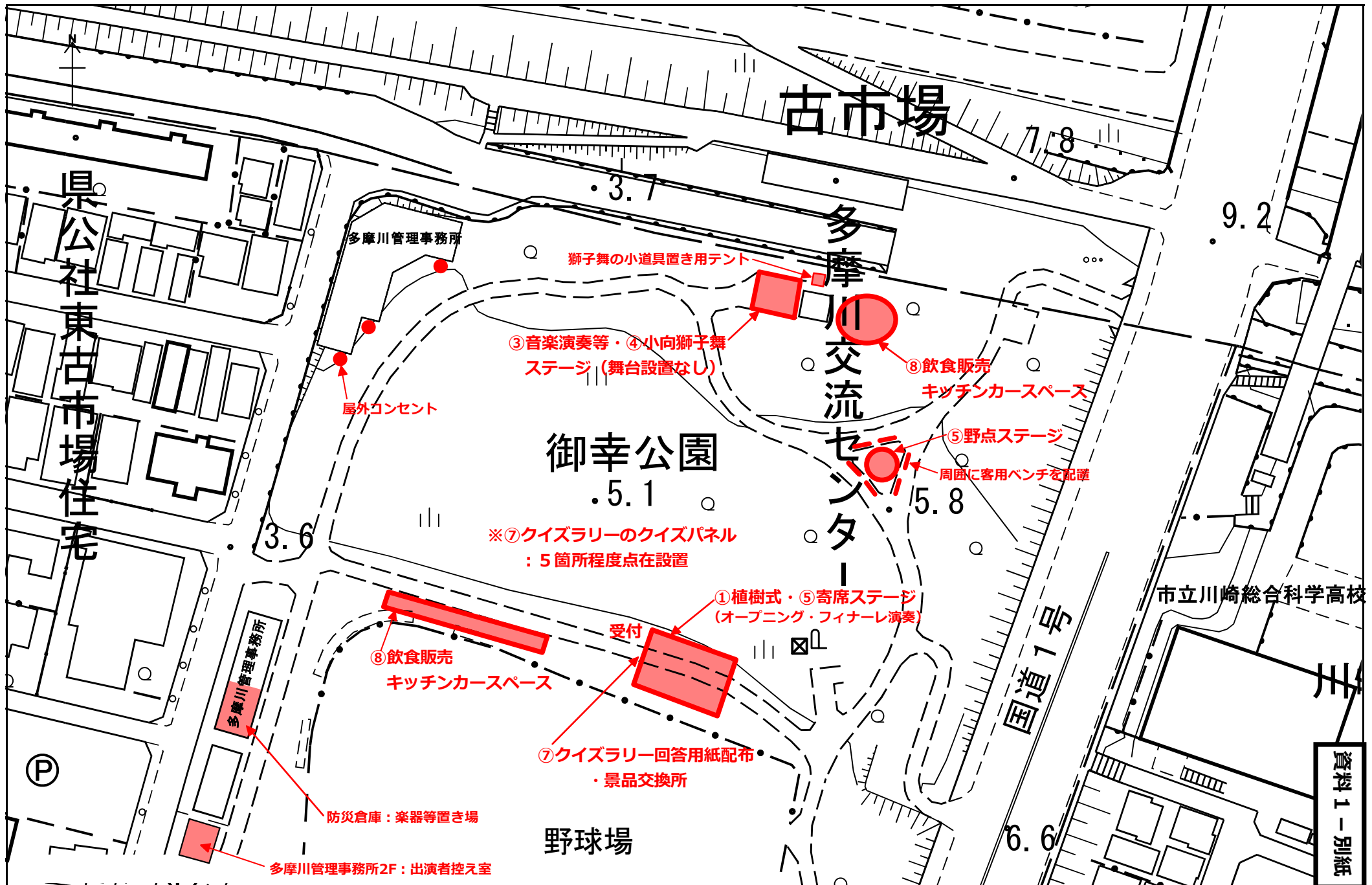
H30 年度幸区民祭 御幸公園梅香事業 P R

回答者数
A=19歳以上
B=高校生以下

南河原地区		御幸地区		日吉地区		幸区以外	
A	B	A	B	A	B	A	B

- ・少雨決行、雨天中止とする。（雨天の場合、音楽演奏や野点などの実施が困難なため。なお、和太鼓・吹奏楽・獅子舞は少雨でも中止。）
- ・イベント開催可否の周知については、テレホンサービスの利用を検討中。
- ・事前周知として、チラシ（イラストを川崎総合科学高校に制作依頼）を作成し、近隣小中高校・町内会等に配布予定。
- ・川崎総合科学高校には、別途、ノベルティグッズなどに使用できる汎用性のある梅香事業のロゴマークも制作依頼。

会場レイアウト (案)



※各催し物の位置については、協議・検討中のため、今後変更となる場合あり。

御幸公園梅林の将来像【現状・課題編】（案）

幸区役所道路公園センター 整備課 公園整備係

1.御幸公園梅香事業推進計画上の「梅林整備の考え方」

※川崎市幸区役所(平成29年)；御幸公園梅香事業推進計画,p.18「梅林整備の考え方」より抜粋

(1)品種

- ・開花期：花を長く楽しめるよう、開花期の異なる品種を植える
- ・実ウメ・花ウメ：実も花も楽しめるよう、実梅と花梅を植える

(2)配置

梅の植樹エリアの中央にある四阿を境に、2つのエリアに区分

- ・四阿南側：小向梅林で栽培されていた品種を主とした白梅中心のエリア
- ・四阿北側：華やかさや見応えを意識した紅梅中心のエリア

(3)植栽間隔と本数

- ・植栽間隔：既存の植栽とほぼ同じ4～5m間隔
- ・本数：合計で180本程度を目指す



図1 植樹のイメージ

2.梅林の現状と課題 - 品種 -

(1)開花期：早期に開花する品種が少ない

・月毎に開花している成木数を調べたところ、3月の76本が最も多く、続いて2月の39本、12月と1月の12本であった

(2)実・花ウメの比率：花ウメが実ウメの3分の1以下

・成木のうち、実ウメは75本と全体の7割を占めており、花ウメは22本で全体の2割であった

(3)品種のバランス

■花ウメ

- ・野梅系の個体数は18本と花ウメの約8割を占めるが、「野梅性」のみで、「青軸性」「紅筆性」「難波性」の品種は植えられていない
- ・成木として植えられているもので緋梅系に分類されるウメは紅千鳥と鶯鶯の2本のみである
- ・豊後系のウメは呉羽枝垂れのみで、枝垂れ性ではないウメは植えられていない

■実ウメ

- ・川崎市幸区を代表する品種である「小向」は植えられていない

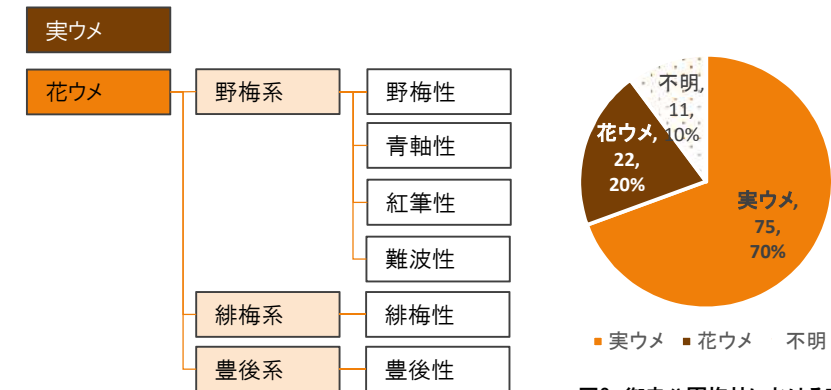


図2 ウメの分類

図3 御幸公園梅林における実ウメ・花ウメの比率

表1 御幸公園内に植樹されているウメの品種、本数、開花期

分類			品種名	本数(本)			開花期(月)			
実/花	系	性		苗木	成木	合計	12	1	2	3
実ウメ			1 鶯宿	0	8	8				
			2 甲州最小	0	6	6				
			3 白加賀	12	37	49				
			4 梅郷	0	8	8				
			5 豊後	12	9	21				
			6 南高	12	7	19				
			7 竜峡小梅	12	0	12				
花ウメ	野梅系	野梅性	8 玉牡丹	12	0	12				
			9 紅加賀	0	1	1				
			10 見鷺	14	0	14				
			11 八重野梅	0	6	6				
			12 八重寒紅	0	6	6				
			13 柳川枝垂れ	0	1	1				
			14 輪違い	0	4	4				
	緋梅系	緋梅性	15 大盃	14	0	14				
			16 鹿児島紅	12	0	12				
			17 紅千鳥	0	1	1				
			18 鶯鶯	0	1	1				
	豊後系	豊後性	19 呉羽枝垂れ	0	2	2				
品種確認中			1 紅梅	0	1	1				
			2 白梅	0	3	3				
			3 白梅・一重	0	3	3				
			4 白梅・八重	0	1	1				
			5 品種確認中	0	3	3				
合計本数(本)				100	108	208	12	12	39	76

3.梅林の現状と課題 - 植樹範囲 -

(1)梅林のゾーニング

- ・御幸公園梅香事業推進計画における植樹イメージから、御幸公園梅林は大きくA.白梅中心エリア、B.紅梅中心エリア、C.その他エリアの3区に区分される
- ・また、平成30年8月現在の状況を踏まえると、既存の古木がある地区(古木区)、新植した地区(新植区)など、次の7区に細分される

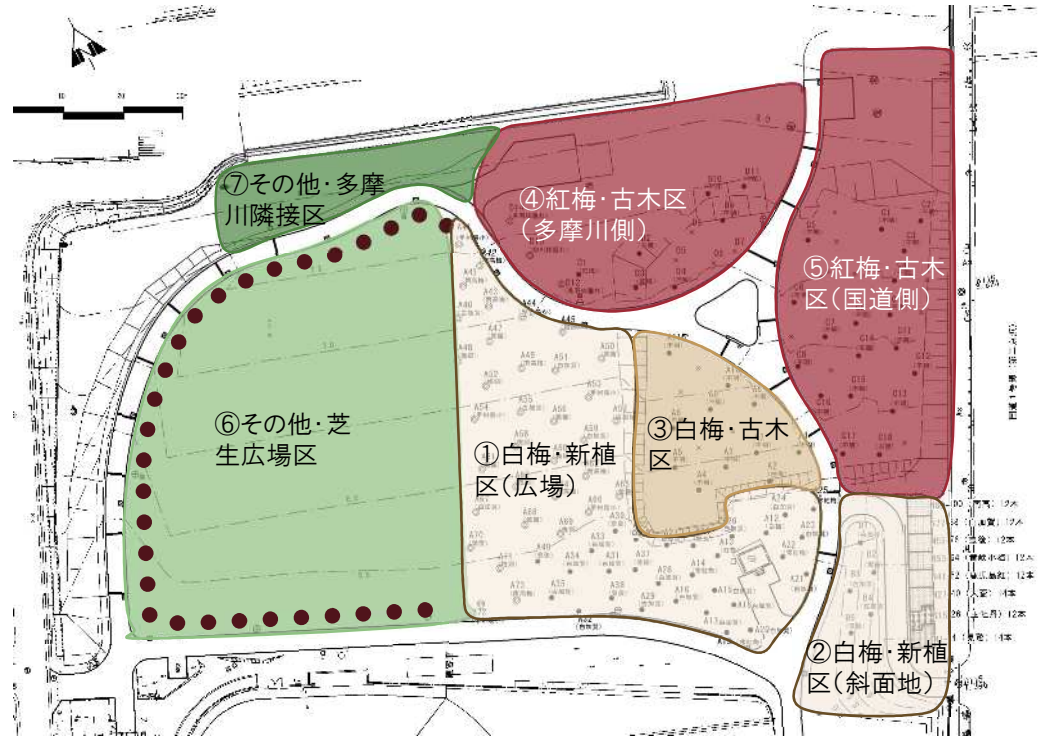


図4 御幸公園梅林のゾーニング

表2 御幸公園梅林のゾーニング

	計画に基づく区分	現状に基づく区分
①	A) 白梅中心エリア	1 新植区(広場)
②		2 新植区(斜面地)
③		3 古木区
④	B) 紅梅中心エリア	1 古木区(多摩川側)
⑤		2 古木区(国道側)
⑥	C) その他エリア	1 芝生広場区
⑦		2 多摩川隣接区

(2)各区の現状と課題

- ・②の白梅新植区(斜面地)では、現在苗床となっている。今後、苗木を他のエリアへの移植した場合、当該地の活用について検討していく必要がある
- ・③、④、⑤の古木区では、枯死木や、生育不良のウメがあるため、補植について検討していく必要がある
- ・⑥の芝生広場区は、川石等が埋まっているため、芝張りを終えるまで開園できていない。当初計画では広場の周囲の園路に沿って列植の予定であるが、全面の芝生化を終えるには時間を要する。また、植樹した場合の養生の方法について課題がある
- ・⑦の多摩川隣接区は、草地となっており、植栽も可能だが、当初計画は植樹しないこととなっている

1.品種の選定

(1)新植する品種の選び方

- ・12月又は1月に開花する品種を優先的に植樹する
- ・花ウメを多く植樹する
- ・花ウメの品種は「野梅系」の「青軸性」「紅軸性」「難波性」又は「緋梅系」、「豊後系」を選択する
- ・実ウメの品種は「小向」を選択する

表3 新植する候補品種(花ウメ)

分類		品種名	読み仮名	開花期	花色
野梅系	青軸性	月影	つきかげ	2月上旬～中旬	青白色
		金獅子	きんじし	2月上旬～中旬	青白色
		緑萼	りょくがく	1月中旬～2月上旬	青白色
		月の桂	つきのかつら	2月上旬～中旬	青白色
	紅筆性	古金襴	こきんらん	2月上旬～中旬	裏口紅
		紅筆	べにふで	2月上旬～中旬	裏紅色
		紅雀	べにすずめ	2月上旬～中旬	紅色
	難波性	故郷の錦	こきょうのにしき	1月中旬～2月上旬	淡紅
		浮牡丹	うきぼたん	2月上旬～3月中旬	淡紅
緋梅系	緋梅性	大盃	おおさかずき	1月中旬～下旬	濃紅色
		緋梅	ひばい	1月中旬～下旬	濃紅色
		鈴鹿の関	すずかのせき	1月中旬～下旬	薄紅色
		鹿児島紅	かごしまこう	1月中旬～下旬	濃紅色
		唐梅	とうばい	1月中旬～下旬	紅色
		錦光	ぎんこう	1月中旬～下旬	濃紅色
		緋の司	ひのつかさ	1月中旬～下旬	濃紅色
		蓮久	れんきゅう	1月中旬～下旬	薄紅色
豊後系	豊後性	大湊	おおみなと	1月中旬～下旬	紅色
変り種	野梅性	黄金梅	おうごんばい	1月中旬～下旬	薄黄色
枝垂れ	豊後性	藤牡丹枝垂れ	ふじぼたんしだれ	2月上旬～中旬	薄紅色
		玉垣枝垂れ	たまがきしだれ	2月上旬～中旬	移り白
		白滝枝垂れ	しらたきしだれ	2月上旬～中旬	白色

(2)苗木を移植するもの

- ・成木として植樹されていない品種を園内に移植する

表4 御幸公園内の苗木の品種名,本数

分類			品種名	本数		
実/花	系	性		苗木	成木	合計
実ウメ			3 白加賀	12	37	49
			5 豊後	12	9	21
			6 南高	12	7	19
			7 竜峡小梅	12	0	12
花ウメ	野梅系	野梅性	8 玉牡丹	12	0	12
			10 見鷺	14	0	14
	緋梅系	緋梅性	15 大盃	14	0	14
			16 鹿児島紅	12	0	12

・御幸公園梅林に成木がある品種（合計36本）
→接木試験に使用

・御幸公園梅林に成木が無い品種（合計64本）
→各7本、合計35本は梅林内に移植し、残りの29本は接木試験に使用

2.植樹の方法

(1)苗木の移植

- ・平成30年度、平成31年度に50本ずつ、計100本の移植を行う
- ・移植先は、右図の③、④、⑤の古木区内とする

(2)接木試験の実践

- ・⑦多摩川隣接区を接木試験地とし、平成31年度より、他の梅林から接ぎ穂をもらい、接木試験を実施する。

(3)国道入口部分の植樹

- ・②、⑤区の国道入口付近には、御幸公園梅林への入口部に合った特色ある品種を植樹する
- ・メイン園路沿いは、見応えのある品種や枝垂れ性など特徴のあるウメを植樹する

(4)芝生広場の植樹

- ・芝生広場の植樹は次の理由から行わないこととする
A.全面張芝に時間を要する
B.ウメの養生のための閉鎖が困難である
C.梅林と広場を明確に区分した方が管理上、利用上効率的である

(5)空地の補植

- ・平成33年度、34年度に古木が枯死した跡地等に補植を行う

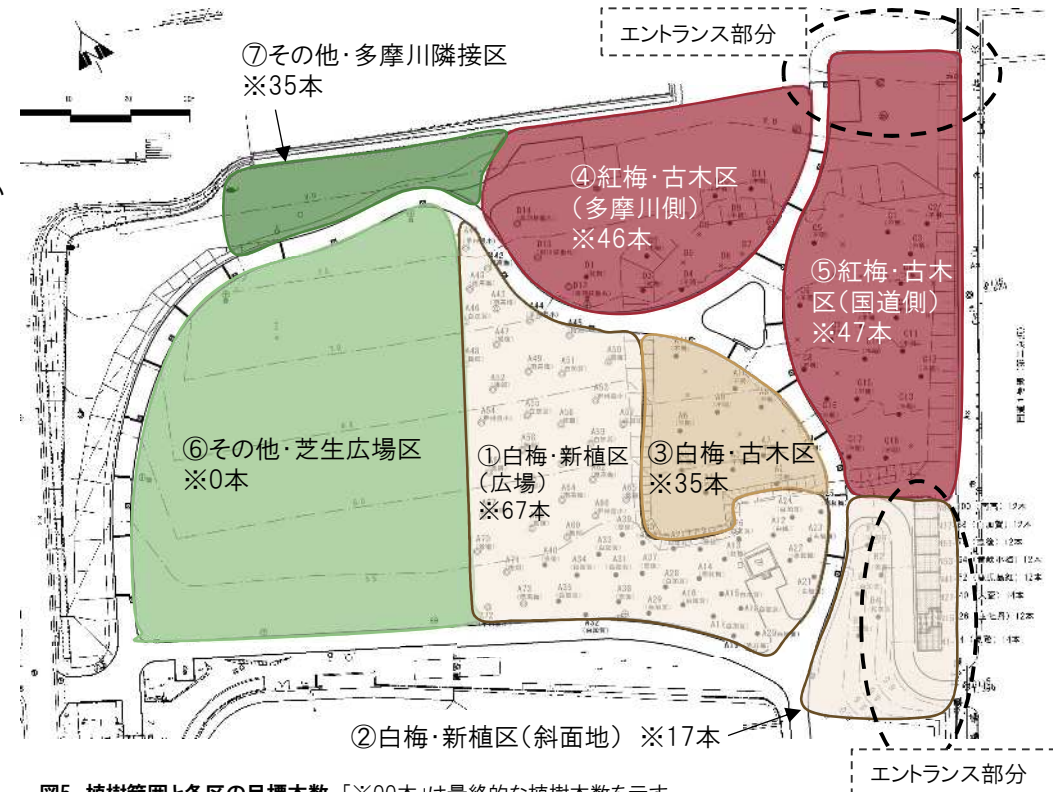


図5 植樹範囲と各区の目標本数 「※00本」は最終的な植樹本数を示す

3.植樹スケジュール

- ・「植樹範囲と方法」に基づくスケジュールを次に示す
- ・本スケジュールに則って植樹を行った場合、植樹終了年度である平成34年度には合計263本の梅林となり、目標本数180本を大きく上回る予定である
- ・ただし、上述の本数は、ウメが枯死しないことを前提としているため、移植試験や接木試験等により枯死する個体が生じる可能性も考えられる

表5 植樹スケジュールと目標本数

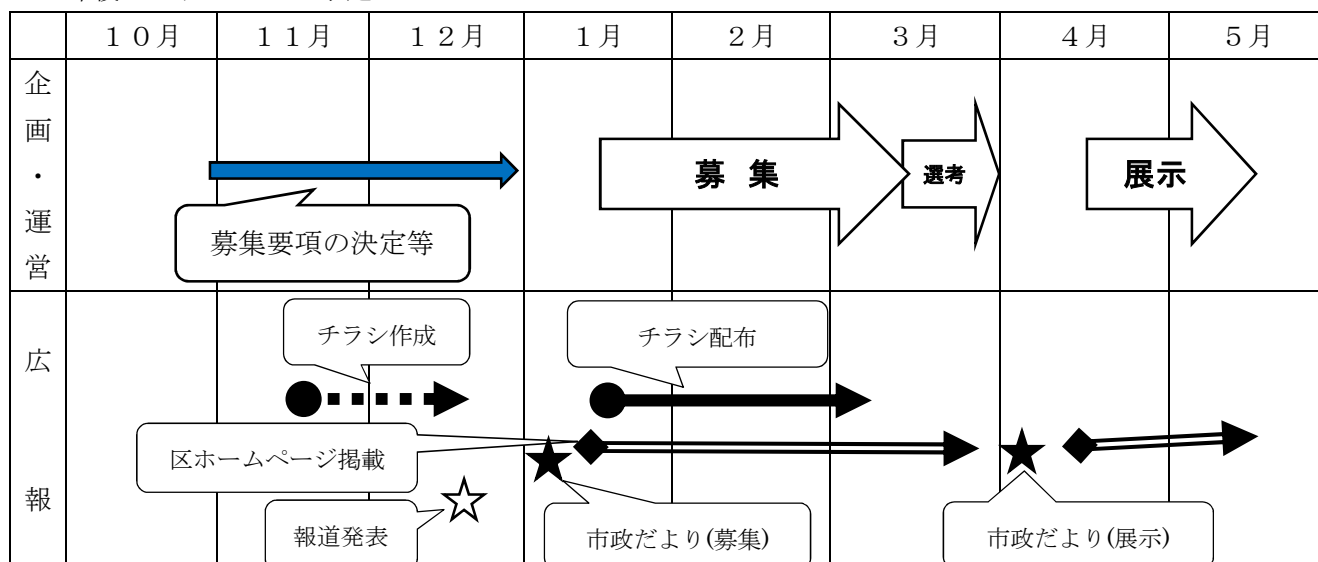
区分			現状本数	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度	
				本	内訳	本	内訳	本	内訳	本	内訳	本	内訳
①	白梅中心エリア	新植区(広場)	63	63		63		63		66	新植3本(空地の補植)	67	新植1本(空地補植)
		新植区(斜面地)	5	10	新植5本(エントランス部分)	10		15	新植5本(苗木植栽跡地)	15		17	新植2本(空地補植)
		古木区	11	21	苗木移植10本	31	苗木移植10本(接木用)	31		34	新植3本(空地補植) 接木試験5本	35	新植1本(空地補植)
④	紅梅中心エリア	古木区(多摩川側)	18	28	苗木移植10本	43	苗木移植15本(接木用)	43		45	新植2本(空地補植) 接木試験15本	46	新植1本(空地補植)
		古木区(国道側)	11	26	苗木移植15本	41	苗木移植15本(接木用)	46	新植5本(エントランス部分)	46		47	新植1本(空地補植) 接木試験15本
⑥	その他エリア	芝生広場区	0	0		0		0		0		0	
⑦		多摩川隣接区	0	15	苗木移植15本(接木用)	30	苗木移植15本(接木用) 接木試験15本	30	接木試験20本	32	新植2本(空地補植)	35	新植3本(沿道部)
合計本数			108	163		218		228		238		247	

３１年度は、応募作品から数点の「賞」を選出し、賞状を贈るとともに、年度末に作成する「さいわいガイドマップ」表紙に採用するなど、事業全体の周知につながるよう取り組む。

2. 実施予定内容（前年度との比較）

	平成 3 0 年 度	平成 3 1 年 度 予 定
募 集 期 間	平成 3 0 年 1 月 1 5 日～ 3 月 1 6 日	平成 3 1 年 1 月 中 旬～ 3 月 中 旬
各 賞 選 考	なし	「幸区長賞」「幸観光協会 会長賞」等
選 考 期 間	－	平成 3 1 年 3 月 中 旬～ 3 月 下 旬
幸区役所（ロビーハナミズキ） 展 示 期 間	平成 3 0 年 4 月 1 6 日～ 4 月 2 7 日	平成 3 1 年 4 月 中 旬～ 4 月 末
日吉出張所（タウンホールヤマブキ） 展 示 期 間	平成 3 0 年 5 月 7 日～ 5 月 1 8 日	平成 3 1 年 5 月 初 旬～ 5 月 中 旬

3. 今後のスケジュール予定



※広報について

- ・ 市政だより幸区版：募集と展示の期間に先立ち、１月と４月に掲載
- ・ 募集チラシ(兼応募票)：募集要項も記載しA4 両面印刷、情報プラザ経由で各庁舎窓口へ掲出
- ・ 幸区ホームページ：募集内容詳細、展示の案内、作品集など、適宜内容を更新して掲載

平成 30 年 11 月 2 日
御幸公園梅香事業推進会議

うめかおる寄附・募金の受付状況について（報告）

1 平成 30 年度（H30.10.31 現在）

種別	寄附者	件数	金額	プレート申込
寄附	個人	4 件	180,000 円	2 件
	企業等	4 件	250,000 円	4 件
募金	—	—	14,186 円	—
計	—	8 件	444,186 円	6 件

2 平成 29 年度（参考）

種別	寄附者	件数	金額	プレート申込
寄附	個人	23 件	1,108,000 円	13 件
	企業等	9 件	850,000 円	9 件
募金	—	—	7,828 円	—
計	—	32 件	1,965,828 円	22 件

3 平成 29・30 年度累計額（H30.10.31 現在）

種別	寄附者	件数	金額	プレート申込
寄附	個人	27 件	1,288,000 円	15 件
	企業等	13 件	1,100,000 円	13 件
募金	—	—	22,014 円	—
計	—	40 件	2,410,014 円	28 件